



月刊

# 社協だより

平成29年  
6月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

## 人が集まる狩留家

六月十七日、狩留家の特別栽培農産物「狩留家なす」の出荷を前に「狩留家なす収穫祭」を開催しました。二百人以上の人が集まりました。その三日後の二十日には「呉歩こう会」のメンバー二十人の史跡散策を狩留家郷土史研究会がご案内しました。



各々の来訪者達は狩留家の取り立て野菜などを競って購入して帰られました。他所から狩留家に来られるということは、単に史跡巡りをして狩留家を見るだけではなくて、何か狩留家で食べたい、買いたいと思っておられる方々です。

その翌日の六月二十一日には、狩小川小学校の三年生と四年生の七十八

名の児童が、狩留家集会所で「特別天然記念動物・大山椒魚」について安佐動物公園の南心司園長の講演を聞き、湯坂川に生息する希少動物の観察を楽しみました。折よく本物の「大山椒魚」も見つかり歓声を上げました。狩留家に人が来始めました。いつでも狩留家産の野菜などを買える処が

あれば狩留家に来られる人にお喜び頂きます。

狩留家の産物の売店が欲しいです。皆で英知を絞って、狩留家の産品を販売・購買できる仕組や場所を検討しましょう。せっかく他所から人が来られても、買う喜びをプレゼント出来ないことは残念です。買いたいお客がいるのに、買える環境がないのです。知恵を出し合いましょう。

(会長記)

## 「児童の湯坂川の希少動物観察会」

### オオサンショウウオおったどー

六月二十一日、狩小川小学校三・四年生（七十八人）が、「川の生物」について勉強しました。

広島市安佐動物公園園長、南心司先生の「オオサンショウウオ」の講演を聞いた後、ドキドキワクワクしながら湯坂川に出発しました。

子供たちの日記の一部です。

☆いろいろな生き物がいました。ナナフシみたいなのがありました。カニ、エビ、小さな魚、いっぱい生き物がいました。また行きたいです。



☆きれいな魚が取れて観察してみるときらきら光っていました。すごかったです。川にはいろいろな生き物がいました。不思議でした。次はオオサンショウウオを近くで見たいです。また川で遊びたいです。

## 理事会報告 平成二十九年六月十三日

### 議題

- 一、高齢者いきいき活動ポイント事業について
- 二、平成二十九年年度「狩留家あんしんネット運営委員会」の取り組みについて
- 三、平成二十九年年度地域高齢者交流サロン運営事業として採択されたグループについて
- 四、認知症研修会について（七月十三日）

いです。

自分たちがすんでいる地域の川には、たくさん生き物が生きている。天然記念物のオオサンショウウオも生きている。すごいな、楽しいな、きれいな水だなという思いが心に残ったようです。豊かな自然は、狩小川の心の宝物ですね。

早速三年生は、学校に帰り「オオサンショウウオ」について調べ学習しています。「生き物が生きていける美しい川、自然を守ってほしい」という思いが広がればよいなと思っています。（三年）組担任 西川伸子

## 日帰りバス遠足に参加して

六月七日（水）宇品のグランドプリンスホテルに四十二名の参加者で実施しました。

昨日までの天気とは違い、一日中雨でしたが、参加者全員、中華料理、カラオケと大満足の一日だったと思います。

最後の「それ行けカープでは、老いも若きも？全員で手拍子と合唱で盛り上がりました。ホテルには、たくさん

毎年参加されている人、今回が初めての人と様々でしたが、次回もまた新たな参加者が増えることを願っています。

五月資源ごみ売上 二万一千円